



DSC 0294

今年91歳の赤堀庄太郎さんは、いまでも音楽活動をされています。

幼いころから歌が得意、ハーモニカが上手というとても音楽好きな少年でした。小学生のときはじめて聴いたピアノに感動し、なんとしてもピアノを弾きたいと思ったそうです。戦前の田舎ではピアノを習う男の子は珍しく、「女の子から嫌がられながら練習しましたよ。」と笑って話してくださいました。

その技術をいかすべく昭和22年から高校の音楽教師となりましたが、当時学校にピアノはなく、ヤマハや河合など楽器会社に頼みに行ったそうです。そんなことから、こんな楽器はどうかとアイデアを持ち込み、電子オルガンや鍵盤ハーモニカ(商品名ピアノカなど)が作られることとなりました。(下の写真は赤堀さん発案の楽器)

今では誰もが習う鍵盤ハーモニカを発明した方がこんな近くにおられたことが驚きです。要請があれば、日本全国どこへでも出かけてその指導に当たってこられました。



DSC 0298



syuusei

菊川市文化会館アエル退職後は創立に尽力され、初代館長を務められました、アエルでは様々な音楽家芸術家出会うことができました。また天皇皇后両陛下が来館された折は案内役としていろいろお話したことが良い思い出となっています。

<http://kikugawa-ael.jp/>



[img111 \(2\)](#)

今年5月にはそのアエルにて赤堀さんの演奏と医師の遠山先生が健康長寿について語る、「菊川で健康長寿」という企画がありました。



[赤堀さん演奏写真HP用](#)

年齢が進むと耳が聞こえにくくなる方が多いですが、今年91歳となった赤堀さんは全く問題ありません。目も1.2老眼も近眼も必要なく、声にも張りがあります。「年に自分が追われるのではなく、自分が先に進んでいくような生活が大事だと思う。私はいま91だけれど数えていない。死んだとき、はじめてあの人は死んだとなと言えばいい。それまではしっかりやる事が生きる喜びにつながるのではないか。」という言葉が印象的でした。話しながらも、ピアノを弾いて下さり、そのすばらしさに感動しました。



[DSC 0290](#)

今でも新しい鍵盤ハーモニカの開発を模索中だそうで、文字通り音楽とともにあゆみ、まだまだ歩みをゆるめていません。